

明治神宮  
奉納

勸告

備ふして隱微着實なる九州の労働者に左傾思  
 想の宣傳を試みたることをありて機械鉄工組  
 合の行動は深甚の注意を拂ひつゝありと  
 此の向孤出所より教回の覆誼主任の許に掛り  
 来り是れよりして想像するに附近の想抱を  
 大なる労働争議の起りつゝあること明白なり  
 同主任の向いて尋ねたるは戸畑警察署の管内  
 にあり明治紡績株式會社の争議なりとありに  
 戸畑警察に向ふ屋上支柱の北九州機械鉄工組  
 合の本部を訪ふ西部炭坑夫組合の教野際治に

1030 乙H特製

日系

面會す同君は同群會の壯士と殺傷事件を去し  
 たりることあり有るるを男を先を闘争を  
 負傷して限院たりゆかり同君の語に依ると據  
 械鉄工組合の幹部は同群會直の存めに重傷を負  
 傷して臥床中且つ即筋の安川に於て暴力團體  
 を使用し且つ警察又限に會社側の首首を持つ  
 には於ては自分は何等躊躇するることなく一身  
 を犠牲として焚いて後やと覺悟ひたり又自分  
 が起つれば於ては九州水平社を座視しては度  
 あり筈である先頃東京某は同群會に良心を訴め